

【配布資料一覧】

資料 1	本日の会議の位置づけについて	P1
資料 2	令和5年度実施「保育士等の勤務実態調査等に係る アンケート調査」から見えてくる保育士などの問題意識	P2
資料 2-1	R5 アンケート自由意見の分類化	P3
資料 3	保育の環境・魅力向上について	P10
資料 4	環境改善・魅力向上アンケートまとめ	別冊

memo



会議全体のスケジュール感

第1回 8月26日	第2回 9月25日	第3回 10月30日	第4回 10月末～11月初旬	第5回 (12月)
出発点を同じに 保育の状況確認	充実策を考える① 確保策の具体化	充実策を考える② 環境・魅力向上	※提言草案検討	※提言案検討
【資料】 ・人口について ・マトリックス ・児童数・待機児童数 ・並行通園児童数 ・保育士数	【資料】 ・保育人材確保の目的とその実現のための取組について ・マトリックス	【資料】 ・保育士の問題意識 ・保育の環境・魅力向上について ・アイディアシート 今日ここ	【資料】 提言草案	【資料】 提言案

協議結果をとりまとめ、市長へ提言

⇒ 官民お互いで提言の具体化へ

本日のテーマ

保育の環境・魅力向上について

講話

～働きやすい就労環境・魅力ある職場について～

講師 前田社会保険労務士事務所 前田 匠氏

協議

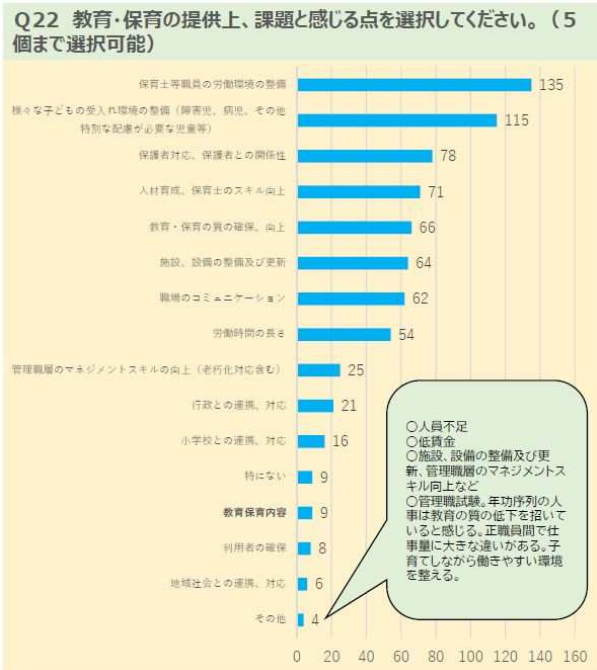
「保育の環境・魅力向上について」

本日のゴール

保育の環境・魅力の向上について
具体策が提示され、取り組み策としてまとめる

令和5年度実施「保育士等の勤務実態調査等に係るアンケート調査」 から見えてくる保育士等の問題意識

「保育人材確保におけた官民連携円卓会議」において、保育の環境改善・魅力向上に向けた議論・検討を行うにあたり、改めて、令和5年度に実施した標記アンケートから見えてくる現場が抱える問題意識を振り返ることにします。

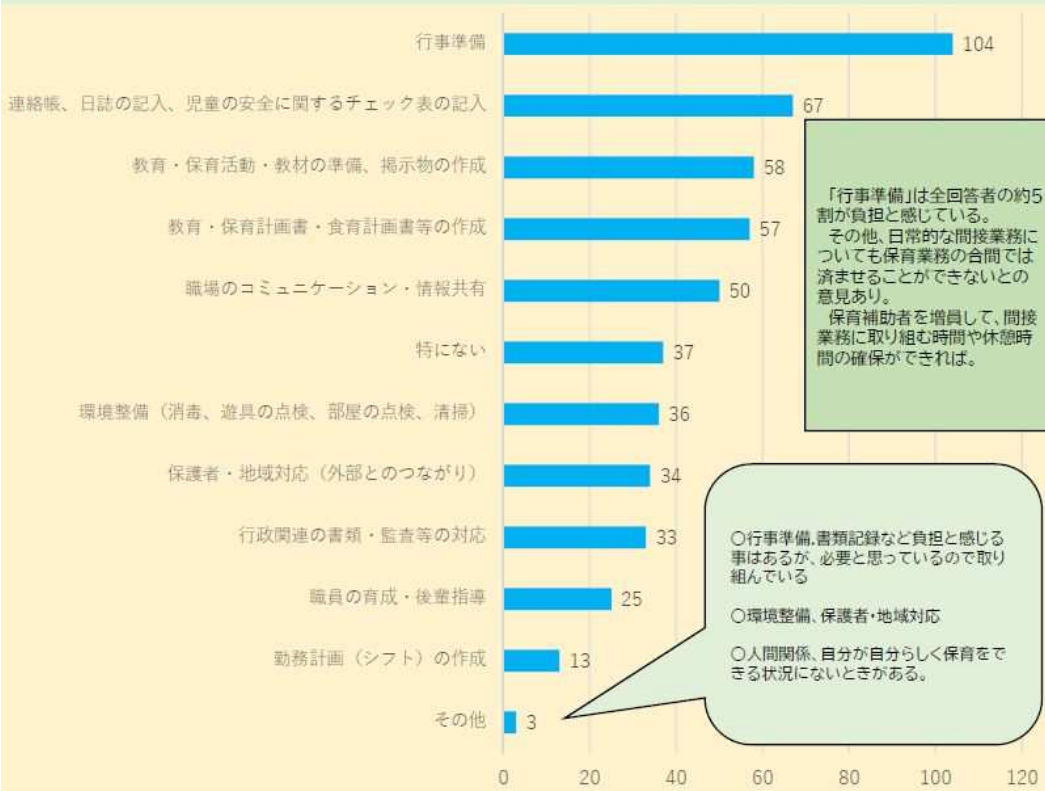


左グラフ「教育・保育の提供上、課題とを感じる点」に対しては、“保育士等の労働環境の整備”に続き、“様々な子どもの受入れ環境の整備（障がい児、病児、その他特別な配慮が必要な児童）”が突出して高い状況となっています。

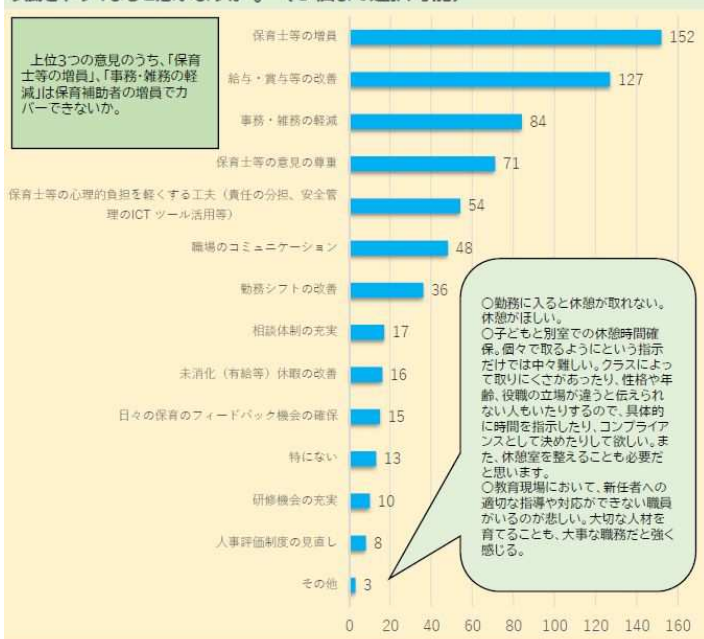
労働環境の改善に関連し、下グラフ「負担が大きいと感じる間接業務」に対しては、“行事準備”“連絡帳、日誌の記入、児童の安全に関するチェック表の記入”“教育・保育活動・教材の準備、掲示物の作成”が続いています。

他業種においては、こういった日常的に行われる事務やイベント的に発生する準備などについて、外注やデジタル化などによる事務改善が行われている事例が多くあります。

Q23 負担が大きいと感じる間接業務について選択してください。（5個まで選択可能）



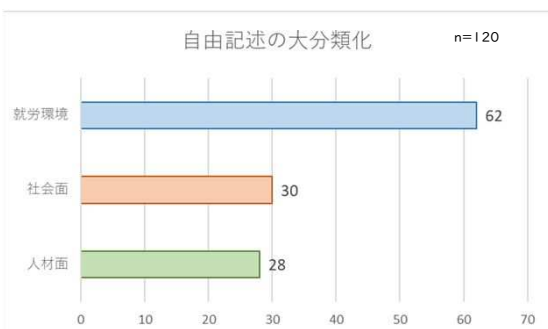
Q25 普段勤務をする中で、あなた自身の働く環境が、今と比べてどう変わればより働きやすくなると思いますか。（5個まで選択可能）



左グラフ「普段勤務をする中で、あなた自身の働く環境が、今と比べてどう変わればより働きやすくなると思うか」の設問に対しては、“保育士の増員”について、“給与・賞与等の改善”があげられています。この設問には210名が回答していることから、増員については回答者の72%が、給与等については60%が選択していることになります。

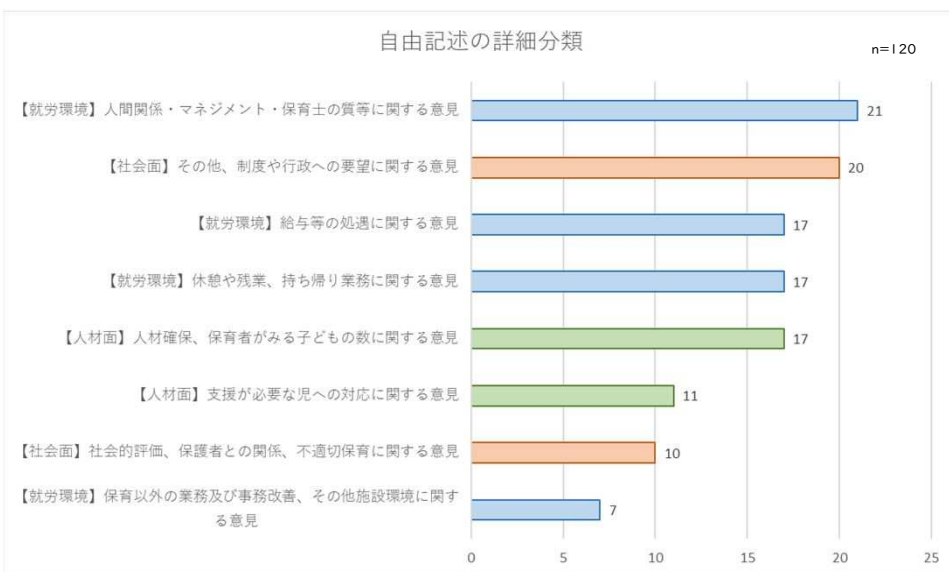
ただ、この2つに次ぐ“事務・雑務の軽減”“保育士等の意見の尊重”“保育士等の心理的負担を軽減する工夫”の保育士の働き方に直接関係する3つの設問についても、4人に1人以上程度が選択している状況も見過ごしてはなりません。

また、このアンケート各設問においては自由記述欄も設けられており、69の自由記述意見が寄せられています。複数の問題を指摘する記述もあることから、さらに詳細に分けてみると120の意見となります。その内容を精査し、分類化したものが次のとおりです。



あらかじめ選択肢が定められたものではない自由記述では、就労環境に対する意見が全体の半数を占め、人材確保等に関する意見は最も少ない形となりました。

また、保護者との関係や、近年問題となっている不適切保育への対応と行った社会面での意見も寄せられています。



上の大分類を、詳細に分類化したものが左グラフ。最も多く選択されているのが就労環境“人間関係・マネジメント・保育士の質等に関する意見”であり、次いで社会面“その他、制度や行政への要望に関する意見”となっている。

(就) 就労環境について
(社) 社会面について
(人) 人材面について

これらアンケート結果等も踏まえ、保育の環境改善・魅力向上として、3つのテーマを設定し、議論を行うことにしたいと思います。

R5アンケート自由意見の分類化

※R5実施「保育士等の勤務実態調査等に係るアンケート」自由意見から

1. 人材確保、保育者がみる子どもの数に関する意見

1	○0歳児3人を1人で見える国の配置人数や、発達気になる子が増えてきている中での保育士1人で見える子どもの人数の負担がとて大きいと感じています。
2	○保育士1人に対する子どもの人数の削減
3	○子どもの年齢に対する保育者の数の規定が少な過ぎる。働き始めてからずっと要望を出しているが、なかなか改善されない。
4	○子供1人1人に向き合う、ゆとりある保育を理想とすると圧倒的に保育士の人数が足りないと感じます。
5	○人手不足
6	○児童の安全見守り
7	○保育士が足りない状況です。命を預かる現場ですが余裕を持って保育ができません。配慮の必要なお子様もたくさんいます。
8	○もっと職員の人数を増やしてゆとりの保育ができたらと常に思いながらの保育をしている現状があります。
9	○現在保育士が足りない状況なので保育士の確保に力をいれて欲しい。
10	○保育士がゆとりをもって保育ができる人数を受け入れてほしい。大人1人に対しての子ども的人数が多い為常に気が張っている状態で毎日疲れている。
11	○保育士の人数が足りないにもかかわらず、待機児童も多く、現場の保育士は大変です。気になる子どもや保護者支援も多く、精神面も体力面もきついです。
12	○保育は大変なので、短時間で働いて交代制できるくらい補助増員、補充と確保につきたいです。
13	○保育士確保。
14	○保育士として働くことに充実しています。今の保育は子どもの自己肯定感を育むことに保育士全員で取り組んでいますが、クラスの人数が多くて一人ひとりに丁寧な保育が難しいと感じています。1日中気になる子どもに丁寧に関わることで疲弊している保育士も多く、クラス全体を把握することが難しいと感じる日もあります。
15	○保育人材が少なく、負担が大きい。
16	○人手が足りない。ギリギリの状態で保育をしているため、気持ちに余裕がなくなる。
17	○年齢別の保育士1人あたりの保育出来る人数は改善されないと安心安全に一人ひとりに寄り添っていく保育は難しいです。個々により発達心の育ちが多様なので集団保育はもう受け入れられない現状です。現場は日々悩み改善点を話し合い子ども達の一番の居場所作りに努めへとへとです。

2. 支援が必要な児への対応に関する意見

1	○発達の子どもの保育士確保
2	○支援の必要な子どもや保護者が多く、保育士不足で精神的・体力的に負担が大きい。
3	○"保育の質の向上を目標にかかげ頑張ってるつもりですが、保育士の人数が足りず(国の定める数字で見れば足りてるのですが…)気になる子が増えてきている現状があり、目が離せなかったり細かな支援が必要になってくる。そうなると、嫌でも全体を見守るのみで精一杯。ケガしないように注意を払いすごしている現状。保育の質の向上どころじゃないのが、やり切れない気持ちになります。今やれる事を頑張りたいと思います“

4	○いつ子供の人数に対する保育者の人数を変えたいのか？クラスに何人もの発達障害の子供がいる中で安全な保育をする事が困難。
5	○この数年で支援児が増えて来ました。支援児対応について職員を増やしたり研修を数回取り入れてほしいと思います。
6	○障害児を受け入れるにあたり職員1人1人がスキルアップをしながらゆとりを持って関わる事が出来る様に障害児に対して加配を付けて欲しい。
7	○年々、気がかりな子どもたちが増え、丁寧な関わりが必要であり、保育者の手や目が足りていないと感じる。
8	○現場で働いている保育士の大変さはよくわかります国の規定人数もわかりませんが子ども達は気になる子も年々多く保育をする先生達は、書類関係等や保護者との対応等など色々と大変です
9	○待機児童が多いから入れて欲しいと言われるが、療育を受けている子が増えてきている現状に、手が回らず、目も離せない、危険に感じる。いつ事故が起きてもおかしくない状況になっている。定数を増やすべき。もっと現場の声を聞いて頂きたい。
10	○年々、気になる子が増えてきているので、保育士の増員など。
11	○障害児や配慮が必要な児童の数に比べて保育士の数が足りない部分があり対応が難しいこともあるので、そのような子を受け入れられる保育環境や施設等が十分にあること

3. 就労環境（休憩や残業、持ち帰り業務に関する意見）

1	○勤務先によっては休憩時間も全くなく仕事量が多く残業時間が長すぎるなどもありました。また超過勤務手当も取りにくい状況もあります。
2	○人手不足で有給を取得するのに気を使う。
3	○休憩時間がない。
4	○勤務に入ると神経をすり減らして安全に勤めている。それなのに休憩は全然取れない。
5	○事務・保育や行事の準備等を時間外に行っている。時間外手当も提出しづらい。
6	○勤務形態も休憩なし、残業代はつかないのが当たり前の保育士は不足して当たり前だと思います。
7	○休憩時間の確保や、施設整備、週休3日を希望します。
8	○有給がほしい
9	○日々の保育におわれ、事務作業や製作などは持ち帰っている状態です。
10	○残業時間2時間としましたが、実際に申請している分がそれくらいだけであって、保育士はどうしても勤務中は子どもから目を離せない為、勤務外に準備物や持ち帰りの作業が出てしまう。休憩も昼寝時間子どもから目を離すわけではない為、実質的な休憩になるわけでもなく、その時間に作業をすることも多い事はわかっていて欲しいです。
11	○持ち帰り業務の改善
12	○保育所はお昼の休憩時間が取れない為その分の時間外や1時間早く退勤できるようにしてほしい。
13	○経過記録や月案等家に持ち帰ったり、勤務時間外でしないといけない資料が多い。それでも、時間外や超勤手当をつけて貰えない。
14	○昼休憩がないのも保育業界では当たり前のようになっています。製作準備、行事準備、書類などの書き物なども子どもたちを見ながら保育時間にすることが難しく、勤務時間内に終わらないことも多く、残業や持ち帰って取り掛かるような感じです。保育士の負担が軽減できますように。
15	○これほどまでに残業がつづいたり、担任だけが残業したりする環境は、身体にも精神にも良いことはありません。目の前に子どもがいるから、がんばれます。子どもたちがいるから、妥協したくない部分も大きいです。
16	○午睡の時間などにしっかりとした休憩をする時間が欲しい
17	○完全週休2日制にして欲しい

4. 就労環境（給与等の処遇に関する意見）

1	○給料のアップ
2	○正規職員と会計年度職員は同じ仕事をこなしているのに給料も差がありすぎる。
3	○命を預かる現場なので、人手と給料は、見直して欲しい！
4	○体力勝負の仕事でも給料が高ければ頑張れますが、給料も安いので保育から離れる仲間をたくさん見てきました。改善してほしい点はたくさんあります。
5	○保育士の待遇改善
6	○保育士は、専門職だと思うので、専門職手当等を付けてほしい
7	○とにかく保育士確保と給与アップ
8	○教育も保育も負担が大きく、成り手が減っている分、給料が見合うようになってくれたらと思う。
9	○保育士の給与や手当での見直し。
10	○仕事の責任や大変さに対して、賃金が見合っていないと思います募集してもなかなか入ってこない、現場はいつも人手不足です
11	○仕事内容と給料が全く見合っていない。命を預かる、人を育てる大切な仕事だということを行政は今一度考えてほしい。仕事内容的に正規職員と大差なく、仕事をしない正規職員の分まで雑用をこなしているが、給料や処遇改善費に全く反映されない。
12	○給与、賞与の改善。保育業界全体も給与は低い、島はもっと低い。
13	○人員不足で、みんな少ない人数で働いている…その働きに給料はそぐわない、長期休暇も取れない
14	○まずは保育士確保。そして給与アップ。全国で問題になるにつれ、これでは保育士は減っていく一方だと思う。以前に比べて手当はついたものの、まだ納得いくものではない。もう少し保育士という職業に対して手厚い対応を求めます。
15	○保育士の給料や、賞与、休憩時間の確保
16	○保育士等増員やそのために給与・賞与などの改善があれば子どもたちにも保育者にも良い保育現場になるかと思います。
17	○保育現場では、保育士が日々の業務に追われています。気になる子への支援や、保護者対応、連絡帳などの事務作業、行事の準備、業務は多岐に渡ります。その上、同じクラス担任との人間関係や、上司との関係での悩みも多く、精神的に疲弊している保育士もいます。にも関わらず、安月給です。評価をしにくい職種ではありますが、上司からの正当な評価と、給与がもう少し上がれば、やりがいを持って働けるのではと感じています。

5. 就労環境（人間関係・マネジメント・保育士の質等に関する意見）

1	○主任や所長が現場の様子を把握しようとし、意見を取り入れてくれない。
2	○仕方ないですが抱っこや沐浴、机や椅子が重たく日々、身体にも負担がかかり腰痛が改善できません。
3	○正職よりパートの負担が大きい事が多く、仕事の分散を考えて欲しくても、なかなか声をあげにくく、離職する方が多く感じます。
4	○コミュニケーション、上からの情報が全くない不安でたまらない。事務員が、保育に口出し、みだしてしまう。園長と保育士で、決めて行く事が保育士も納得し子どもたちにもより良い環境ができる。
5	○正直な意見としては、保育の質も気になります。保育士が、なにを大切に保育にあたっているのか、保育士が一丸となってやり方は違うにしろ、保育園、幼稚園と一緒に、子どもたちの成長に関する根っこの部分は統一できていたら理解し合えるのではないかと思います。

6	○毎日残業しても次から次へと仕事が増えて、終わりません。定時に帰れる職員もいて、仕事の分担がうまくできていないことは明らかなのですが、改善されず半年が過ぎました。心身ともに疲れています、相談しても変わらない現状では、相談する気もなくなってしまいました。
7	○職員等とのコミュニケーション
8	○対応の難しいお子さんや保護者への明確な対応の仕方の基準を指示して欲しい。私の様な非正規雇用の補助員は保育士の指示を受け行動しないと責任はとれません。仕事内容は事務仕事以外は保育士と変わらない内容を求められる事もあり、勝手に動いたり、考えて動きづらいのが現実です。対応の難しいお子さんには特に明確な指示が欲しいですが保育士も忙しいので任される事が増え都度対応を指示できる人がいて欲しいです。
9	○時短勤務や勤務シフト等をもっと増やして欲しいです。
10	○現場は毎日大変です。とにかく毎日が追われているので一息つける時間も必要だと思います
11	○相談する環境ではあるが解決しない
12	○自分の思いを何でも言うことが必要な場面もあるかと思いますが、自分の意見を通そうとして、ぶつかり合うことが多々あると思います。複数人で保育を行うなかで、保育士同士のコミュニケーションが取れていないと安全に見守りもできないので、お互いに歩み寄りや、中立的な立場の方に相談ができる環境があれば、さらに良いなと思います。
13	○職員が全体的に年齢層が上がってきているので、もっと若い子が入ってこないと将来的に不安です
14	○責任を感じれば感じるほどパート保育士にどこまで任せるかも悩みます。保育士も自己肯定感が大切と感じます。
15	○保育士のスキルアップを図るための時間が必要だと思う。
16	○多様な働き方ができ、シフトも希望通り入れてもらえて助かっています。が、研修等に参加できる時間がなく、自分の保育スキルに関して不安を覚えることがあります。
17	○現場に状況も見て、保育士がゆとりを持ち、一人一人の子ども達に十分関わっていける体制作りが必要だと思います保育士の現状は、休憩時間も取れていません
18	○パートが多くパートのいない時間帯が保育士不足で日々の保育内容を考える時間もない
19	○長年いる先生方の考えが(特に保育士でない方)アップデートされておらずとてもやりにくさを感じております。クレームが無いように無いうに保護者対応や保育をしてる様に感じる事もあります。
20	○福岡で保育士をしていましたが、奄美は保育の質が低すぎる。それぞれの保育スキルも経験年数に比例していない人が多い。研修の機会を多く設ける(内容ももっと濃いもの)ことと、自己研鑽をする習慣をつけるべき。奄美の保育は10年遅れている。
21	○保育士の意見を聞いてほしい

6. 就労環境（保育以外の業務及び事務改善、その他施設環境に関する意見）	
1	○行事書類の軽減
2	○保育士確保できないなら、せめて掃除や雑務を機械化出来るといいです。
3	○現代に合わせてデジタル化を積極的にしてほしい手書きなど子どもと関わる以外の事で仕事が増えているため保育士が増えない、辞めていくのに繋がっている
4	○建物の老朽化が進み、危険な箇所が多々ある。雨が降った時に、もっと遊べるスペースがあればやりやすい。倉庫が外にあるのも困る。(特に巧技台など)
5	○樹木の枝の伐採等は危険が伴うため、専門業者をお願いするなど、安全に働けるようにしていただきたいです。
6	○人手不足の解消と今勤めている職場が築50年と古く保育ほ他にもネズミ対策など、いろいろ保育以外の仕事が多いので、建て替え等でそういう負担が減れば助かると思います。
7	○お金が無いとの理由なのか？各クラスの備品の粗末さに驚いています。

7. 保育を取り巻く環境（社会的評価、保護者との関係、不適切保育に関する意見）

1	○最近のニュースでとりあげられていますが、何でも虐待と言われ、仕事のやりづらさを感じます。なりたかった保育士という仕事を離れたくなりました。
2	○不適切保育が問題となっていますが、保育士不足による余裕のなさからくる問題だと思います。昔と今では保護者の考えも子どもの発達も大きく変わっているので保育の在り方も今の時代に合わせて変えていかないといけないと思います。
3	○保育所はなんの為の施設かを再度皆で確認し保護者とも利用の仕方を考える必要があると思います。
4	○保護者支援が手厚く本当に保育が必要な家庭なのかなと不審に思うことがある。保護者の仕事が休みの日も子どもは体調不良でも保育所に来て親のリフレッシュのために保育所があるのかなと思ってしまう。
5	○不適切保育に対する世間の過剰な反応
6	○まだまだ社会的に保育士の立場が低くみられていてと感じることがある。ただ子守をしてるように思っている人もいると感じる。特に社会的地位の高い人達の意識が変わってくれたらと思う。
7	○保育所がやって当たり前、自分勝手な考えの保護者も多く、休みの日も預け過ぎ時間が少ないため親と愛着関係が未形成の子も多い。7時半～18時半の開所時間で充分だと思う。
8	○毎日、早番から遅番まで預かっている子ども達がいいますが、保護者の方のリフレッシュは、出来ていているようです。同じ様に子ども達も時には、保護者とじっくり関われる時間が、必要だと思います。中には、保育所に来ている事で逆に安心安全の子ども達もいますがね。朝ごはん抜きの子も達、せめて何か食べて来てくれたらと、思います。
9	○何が不適切保育でどのような対応をすれば良いのかなどの研修または紙で明記してほしい
10	○保育士不足の中、お仕事がお休みでも早番からの利用や遅くまで預ける。お仕事がお休みの日は、子供と触れ合う時間をもってほしい。子供も1週間頑張って保育園に来てます。休みたいのは、両親だけではないと思います。

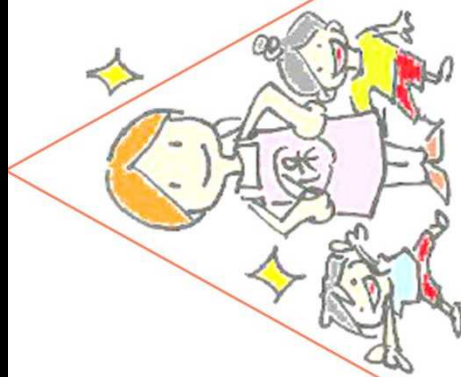
8. 保育を取り巻く環境（その他、制度や行政への要望に関する意見）

1	○コロナ感染に対する補償
2	○行政も現場を把握しようとしなくても関わらず、保育所の意見を聞いてくれない。現場に足を運んで、状況を把握・理解してほしい。
3	○市役所は保護者へのサービスばかりを優先子供の権利が阻害されている。現場に入らず実態を知ろうともしないまま保育士の意見を尊重しない
4	○良い保育環境のためには、人員不足解消は必須。人材確保には、労働環境の改善が必須。例えば、やっと国の配置基準の是正が検討され始めたが、1歳児5人でも甘い、それが現場の声。もっと現場を大切にしたい。他市や私立では、独自の基準で手厚い所もある。奄美市も本当によく考えて欲しい。不適切保育というが、まず今の保育環境自体が不適切な状況なのが問題。このままでは保育士一人ひとりが辛くなっていくばかりだと思う。
5	○日々の業務の中で1番は子供ためにできることを考えるべきだが、人手不足・重労働もあり、本来の保育所の意味を見失ってる気がします。理想の保育を考えるのもわかりますが、現状をしっかり把握した上で、働きやすい環境、子どもがのびのび過ごせる環境を作ってくださいなと考えます。
6	○近年、子育て支援など様々な援助が行われているが、子どものためになっているか？親との関わりが一番必要な時期に、親の仕事の犠牲になっていると感じています。経済的な支援も大切だとは思いますが、子ども必要には応えられていないと思います。難しい課題ですが、長時間の預かりなど1日の大半を親から離れて過ごすことの無いような子育て支援を行って頂きたいと希望します。

7	○保護者の方も子育てに悩まれている反面、関わる事を大変と感じ、携帯やTVなど大人しく過ごしてくれる方を多くとり、親子の関係も希薄になっているようにも感じる。子育ての方法も保護者の方が学べる場が多くあると良いと思う。
8	○70歳まで勤めたいと思ってます。退職年齢をあげてほしいです。年金だけでは、生活できるか不安です。
9	○母親の支援ができる、子ども達が安全に遊べる施設が早く出来上がるのを待っています。
10	○奄美市の保育園の改築。
11	○認可、無認可での補助金の格差を平等にして欲しい。
12	○現職保育所においても発達障害の子どもやグレーゾーンと思われる子ども、療育に通っている子どもが年々、増えており保育の質や子供たち一人ひとりとの関わりを見直される事が多い。そんな中、クラスの人数等、古い法律に縛られたままなのは納得できない。いつになったら、国は真剣に考えてくれるのでしょうか？いつまでも昭和の古いまま置いてきぼりの現場です。
13	○預け先がないとよく聞く事があるので、一時保育等の拡充。
14	○障害児を持つ保護者から、土曜日保育してもらえ施設が欲しいという声を聞いて、胸が痛かった。(シエルが使えなくなった為)他のきょうだい児のスポーツ付き添いなどで、その障害児の面倒もみながらの大変そうな場面を見ると、土曜日も障害児を保育してくれる施設の必要性を感じます。
15	○幼稚園へ入園を希望する方が減る原因は、職員の対応や、教育の質の低下だと考えます。給食がなくても入園させたいと思える幼稚園になるべきです。職場、職員であるべきです。
16	○保育補助として勤務させて頂いていることに感謝しています保育の場で、悩む事が多々有ります相談出来る窓口など設けていただけたらありがたいです
17	○周りに、資格を持っている人が少ない。資格がないけど、この仕事に興味がある人がいる。子育て支援員などの資格を取る機会が今は、ないので、そういうのが増えると働き手が増えると思う。
18	○また命を預かる仕事にしては給料が低く、保育士になりたいと思う人が減っている。ピアノ等や国家試験を受けなくても働ける環境になればと思う。
19	○実際問題国全体での課題であり、国を上げての改善が見込まれない限り奄美市のアンケートに答えたところで希望は全く感じられない。それくらい未来を感じられない社会である。もし本当に改善をされる場合は、迅速かつ明瞭な対応を求める。
20	○今現在、保育士数が少なく、子どもの人数は多く、また、支援が必要な子どもも多く、保育士1人で見る人数の定数では見れない現状になっています。今現在働いている人達の負担がとて多く、給料面などの改善、保育士の定数改善を求めたいです。

第2回円卓会議では、保育に関わる人材確保策について議論しました。多くの方々を保育者として誘引するためには、保育の環境や魅力の向上も不可欠です。そのため、奄美市における保育の進化のための対策を3つにまとめました。

I 保育士働き方アップデート(for保育士)



- ・業務・事務の改善について
- ・給与、賞与等処遇について
- ・施設、設備等の環境について 等

- ・休憩や残業、持ち帰り業務について
- ・人間関係やマネジメントについて
- ・保育士のスキルアップについて 等

II 働く場所のアップデート

今回の考え方のポイント

- “働く人”の視点から考えてみましょう!
「こども・保護者のため」をいったん離れて、働く人の視点で。
- 事務改善は“なくすこと”から!
事務改善を考える第一歩は「これは必要か?」という意識から。当たり前前に固執せず、現在の状況に合わせて。
- “この際だから”伝えてください!
“こんなこと言ってもいいのかな?” この際だから日頃の思いを伝えよう

III 社会・地域のアップデート

- ・社会的評価の向上について
- ・保護者との関係、不適切保育について 等